

えのもとだより



院長 榎本 泰三

新年あけましておめでとうございます。

地域の皆様には健やかな新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

年に4回発行しております『えのもとだより』は11年目に入り御愛読くださる患者さまや当院スタッフの協力によるものと深く感謝申し上げます。

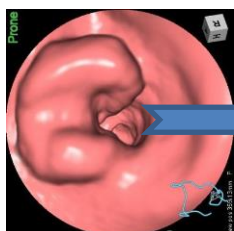
当院は常に早期発見・早期治療を念頭に入れ、日々診療を行っております。非常勤の専門医の先生方にも協力いただき、消化器疾患を中心とし、循環器や呼吸器疾患まで幅広く診療しております。病気をいち早く発見するためには、詳細な問診や丁寧な診察はもとより、やはり精度の高い検査が威力を発揮します。

当院には以前からCT（コンピューター断層撮影）検査装置があり、日々の診療にたいへん役に立っております。これまで東芝製4列CT装置を使用してきましたが、更なる精度・解析能の向上を求め、最新鋭の東芝製16列CT装置を昨年3月に導入いたしました。またこの装置を利用して最近メディアでも取り上げられることが多くなった大腸3D-CT（仮想大腸内視鏡）検査を6月から本格稼働いたしました。この大腸3D-CT検査は当院が奈良県下6番目の導入となり、まだまだ数少ない検査装置の一つです。従来から行っております大腸内視鏡検査は、昨年も年間500例以上の件数を行っておりますが、やはりこの検査にためらいを持たれる患者様が少なくないのも事実です。そのような方にも安心して受けていただけるのがこの検査です。大量の下剤の服用や検査時の苦痛がなく、短時間で行えるのが最大の利点です。大腸の分野において内視鏡検査に続き、今後増えてくることが予想される検査です。

昨年2月には、奈良消化器病診療フォーラムで講演する機会をいただき、「診療所としての消化器内視鏡診療の現状」というタイトルでお話させていただきました。近隣の先生方に当院の取り組みを理解していただくよい機会となりました。

今後も患者様目線での対話を大切にしつつ、最新の医療を提供できるよう努力していく所存です。年頭にあたり本年も皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

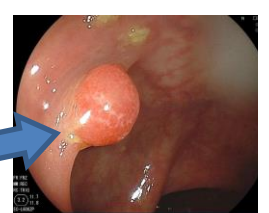
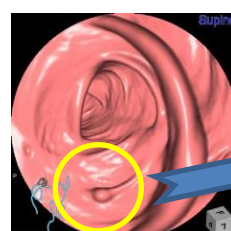
【大腸がん】



【大腸 3D-CT】

【大腸内視鏡】

【大腸ポリープ】



【大腸 3D-CT】

【大腸内視鏡】

名誉院長 榎本泰久

新年明けましておめでとう御座います。

皆様には健やかに新年をお迎えの事と、心からお慶び申し上げます。

私も高齢になりましたが、お陰様で健康に恵まれ、毎日患者さんとお話し出来る事を喜んでおります。日頃より、研究会や講演会には出来るだけ参加し、新しい知識を得て、患者さんに還元したいと勉強しております。

今年も地域の皆様には、安心と満足を提供できますよう、安全な医療・介護に努め「愛される医院」として、この地に存在して参りたいと願っております。皆様のご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

平成 29 年が皆様にとりまして、より良い年になりますことをお祈りしつつ、新年のご挨拶とさせていただきます。

院内勉強会(あすなる会)

1月	高齢者患者疑似体験	
2月	COPD(慢性閉塞性肺疾患)について	GERD ガイドライン
3月	ジェネリックについて	腎性貧血について
4月	平成 28 年度診療報酬改定	大腸 CT (CTC) について
5月	衛生管理	静脈血栓症
6月	糖尿病と認知症	脂質異常症
7月	個人情報	
8月	めまい	
9月	過活動膀胱	
10月	衛生管理	
12月	抗凝固療法	

当院は消防法令により、特定防火対象物のため、消防計画に基づき年 2 回消火訓練及び避難訓練を実施しています。昨年は 2 回とも奈良県広域消防組合のエデュケーションにて、初期消火、煙体験等の防火訓練を体験しました。

